

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社
(以下「ディズニー」という)

第八回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

- 開催日時 : 2015年12月02日(水) 17:00~17:30
開催場所 : 東京都港区虎ノ門1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
27F 会議室
- 在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
加藤 諦三
木下 美子
戸田 奈津子
名越 康文
前田 耕作
山田 顕喜
- その他、ディズニ : 編成部門担当者5名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニージュニアの番組編成・改編について
 - 2) ディズニージュニア放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
・「マイルズのトゥモローランドだいさくせん」

審議の概要

- 1) ディズニージュニアの番組編成について
ディズニー・ジュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)
- ディズニージュニアでも12月5日(土)に「ちいさなプリンセス ソフィア」の新エピソードを含めた特別編成「ディズニージュニア クリスマス会」が組まれている。

- 12月6日(日)には、映画「ポップアップ ミッキー ～すてきなクリスマス」が初放送される。

2) ディズニー・ジュニア放送番組について

ディズニー・ジュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『マイルズのトゥモローランドだいさくせん』について：

- 元々は、ディズニーワールドにあるトゥモローランドのエリア自体がストーリーのモデルになっている宇宙や未来や科学技術をテーマにした作品。
- 子供たちに宇宙や科学技術などに興味を持ってもらいたいという意図で制作された。作品内の世界設定についてはNASAによる監修も受けている。
- リアリティがある。「閉塞感」というか、まるで本当に、宇宙にいるような密閉された感じが出ている。安易に外に出てしまったら死んでしまう、という雰囲気がいま一つと出ている。
- 科学技術が極限まで進むと、家族や共同体のようなものが不要になって、崩壊してしまうと言われている。しかし、ここまでテクノロジーが進んだ未来という設定の中でも、マイルズの一家は家族として強いきずなで結ばれているのが、ある意味とても斬新。
- マイルズたちは、宇宙空間という非常に過酷な環境の中で、基本的に自分たち家族のメンバーだけで置かれている。度々危機的な状況に遭遇するので、これらの問題を解決して生き延びるためにも、家族がいま一つ結束している。
- 使われている専門用語が、子供たちには少し難しいのかなと感じた。
- 用語だけを聞くと、確かに難しい部分はある。だが、じつは原語でも専門用語がそのまま使われている。少々分かりにくいかもしれないが、これらを「雰囲氣的なもの」として受け入れてくれれば、と思っている。
- 夢があり、テンポも良い。だから、我々大人が専門用語を分からなくても、子供たちはそのまま受け入れると思う。
- 子供たちは、細かい部分を断片的にとらえるのではなく、エピソードを見るうちに、全体的に「何となく、こういうことなのだろう」という感じで自然にとらえると思う。
- 男の子は動くものに興味を持つ。特に男の子向けにも良い作品だと思う。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので17:30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。